



フリーアナウンサー 馬場 のぶえさんに聞く

認知症の母が 教えてくれたこと



認知症の人も
自分らしく生きたい
誰かの役に立ちたい



2月7日、ウッドワンさくらびあ大ホールで「誰もが安心して暮らせる廿日市を考えるつどい」を開催しました。今回は「認知症の母が教えてくれたこと」と題し、フリーアナウンサーの馬場のぶえさんからお母さまの介護体験や、そこから得た気づきについてご講演をいただき、その後、廿日市市にお住まいの家族介護者のお話を通し、廿日市市での認知症の人やその家族のための取組みについて学びました。

「介護中はつらいこともあったが、介護を通じて母からたくさんのお話を学んだ」と馬場さん。
グループホームでの職員を気遣う姿や、元気なころと同様に踊りが好きな様子など、認知症が進行してからのお母さまの姿を見て、認知症の人が『やりたいこと』や『できること』を支える支援の大切さ（新しい認知症観）を実感したそうです。
その思いを尊重するために、あらかじめ、本人とこれからのことを話し合っておくこと（人生会議）が必要だと訴えられました。

当日は700人以上に聴講いただき、「自身の介護を思い出し涙しながら聞きました」「人生会議をやろうと思いましたが」などの感想をいただきました。

「新しい認知症観」「人生会議」の重要性を多くの人に知ってもらい、認知症になっても自分らしく暮らせる地域づくりについて考える機会となりました。

第4期地域福祉活動計画ができました！

地域福祉活動計画は、市社協が呼びかけて、住民、関係団体などと相互協力して策定する地域福祉の推進を目的とした民間の活動・行動計画です。

令和7年度に第4期地域福祉活動計画を策定し、令和8年度から12年度までの5か年で計画を推進します。

住民、関係団体への聞き取りやアンケート、地域福祉活動計画推進委員会、市社協役員からの意見などを反映し、形にしたものがこの計画となります。



全4回の地域福祉活動計画推進委員会。それぞれの立場で貴重な意見をいただきました

『「ひとりじゃない」みんなでつなぐ福祉の輪』

協働目標	推進事項（一部）
目標1 支え合う地域を担う人づくり	・学校や市民センター等との連携による福祉教育の拡充 ・担い手養成講座による幅広い世代のボランティア活動者の確保
目標2 つながりのある地域づくり	・住民懇談会等の話し合いの場づくり ・見守り活動の推進
目標3 さまざまな交流の場づくり	・遊びや文化を通じた多世代交流 ・地域住民と地域（こども）食堂関係者の交流の場づくり
目標4 企業等の地域貢献	・地域ニーズのヒアリングと交流の場づくり ・企業等へ高齢や障がいなどの理解促進
目標5 生活のしづらさを抱える人を支える取組み	・ひきこもりの当事者・家族への支援 ・障がいのある人が社会参加できる機会の創出と支援者による関わりの拡充
目標6 相談支援体制の強化	・不動産業者や居住支援団体等との居住支援強化の取組み ・複合的な課題のある世帯に対する支援体制強化
目標7 権利擁護機能の充実	・身寄りのない高齢者等の支援の仕組みづくり ・市民後見人の育成
目標8 災害時にも強い地域づくり	・災害時に助け合える地域づくりと事業所、企業との連携拡充

また、この計画を策定するにあたり、住民の皆さんに親しんでいただきたいとの願いで、地域福祉活動計画推進委員会でキャッチフレーズを考え、「『ひとりじゃない』みんなでつなぐ福祉の輪」に決定しました。今後は、目標を実現させるため、推進事項（左表）を住民、関係団体の皆さんと協働で取り組んでいきたいと考えています。



計画策定後も取組みのふりかえりや進捗について、確認しながら進めていきます

第3次中期経営計画を策定しています

市社協は、地域福祉活動計画の策定に合わせ、令和8年度からの5年間を計画期間とする、第3次中期経営計画を策定しています。

この計画は、市社協が「地域福祉を推進する中核的な団体」としての使命や経営理念、基本方針などを明確にし、その実現に向けた組織体制、事業展開、財務などに関する具体的な取組みを明示した行動計画で、地域福祉活動計画を実践する市社協の運営を下支えするものになります。

計画の策定にあたっては、社会福祉法人全国社会福祉協議会地域福祉推進委

第3次中期経営計画の構成

- 1 はじめに（計画の全体像）
- 2 環境分析（社協を取り巻く経営環境、経営状況分析、経営課題）
- 3 社協の使命、経営理念、経営ビジョン（目標）
- 4 経営戦略
 - (1) 基本戦略（方針・事業・推進方法等）
 - (2) 部門別戦略
 - (3) 人事・労務、組織、財務戦略
- 5 財政計画

員会（以下「全社協委員会」）が示す「市区町村社協経営指針（令和2年7月第2次改定）」及び全社協委員会企画小委員会が発行する「市区町村社協中期経営計画策定の手引き（令和5年3月発行）」を参考にしています。さらに、事務局職員が所属に、第2次中期経営計画の評価及び全社協委員会企画小委員会が発行する「市区町村社協経営指針に基づくチェックリスト」によるチェックを実施した結果も踏まえ、次の構成にしています。

地域福祉活動計画及び中期経営計画の詳細は、市社協ホームページをご覧ください。

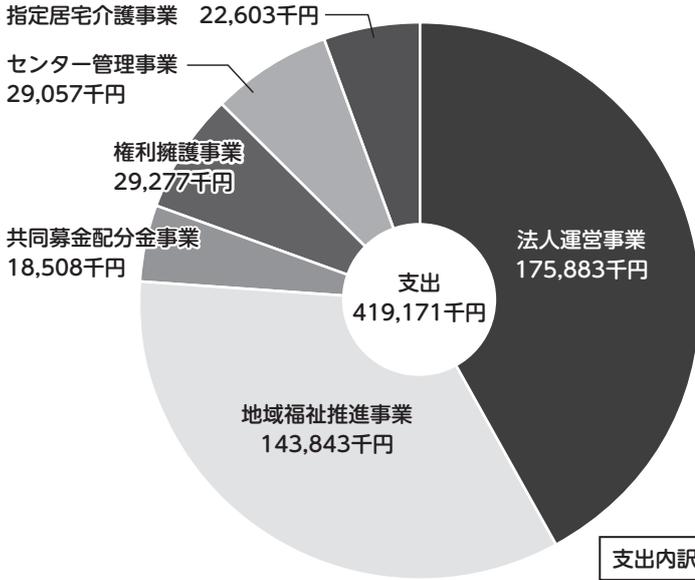


目が不自由な人のために、「あいとぴあ」「広報はつかいち」を音訳、点訳しています。そのほかにも音訳、点訳してお届けしています。詳しくは、市社協へお問合せください。

令和8年度 市社協 事業計画・予算

令和8年度廿日市市社会福祉協議会予算

令和8年度の予算は、収入419,171千円(財源内訳 自主財源20.9% 依存財源79.1%)、支出の内訳は以下のグラフのとおりで、事業計画に示した基本目標に沿って事業を進めていきます。



近年は地震や火災など災害が相次ぎ、地域を取り巻く環境も大きく変化し、人と人がささえあう地域福祉の大切さが改めて意識されています。本会では災害支援や防災減災の取組みを通じ平時からの備えや人材育成を進め、関係団体と連

携しICT研修などを実施し災害対応力の向上を図ってきています。また、地域共生社会の実現に向け市社協の役割は一層重要になっていきます。物価上昇の影響により低所得者や生活困窮者を取り巻く状況は依然として厳しいも

のがあります。深刻な生活課題や孤立といった地域の福祉課題に向き合い誰一人取り残さない支援を進めることが、本会の重要な使命です。このため、本会では、生活支援体制整備や権利擁護成年後見人の養成などを総合的に実施してきました。令和8年度からは、第4期地域福祉活動計画などに基づき、ささえあいの仕組みづくりを着実に進めていきます。本会がこうした役割を果たしていくためには、時代の変化や住民ニーズを丁寧に捉え柔軟で持続可能な事業運営を行う必要があります。そのためにはICTやAIなどの新たな技術を活用し業務の質や効率の向上を図ります。あわせて組織内外の連携を深め安定的な事業運営に努め、地域の皆さんと連携し「住民一人ひとりが主役の福祉のまちづくり」を進めていきます。

市民後見人として 一歩ずつ前へ

市民後見人フォローアップ研修、令和6年度の市民後見人養成研修を経て、11人が市民後見人候補者としてバンク登録をされています。令和7年度は、登録者の皆さんが安心して活動を始めるよう、全5回のフォローアップ研修を実施しました。

研修では「意思決定支援」や「対人援助技術」などを学び、参加者から「もっと学びたい」といった前向きな声も寄せられました。研修後には交流の時間も設け、市民後見人同士のつながりづくりにも取り組んでいます。



熱意を持って学ばれる市民後見人候補者の皆さん

現在、市民後見人としての受任件数は0件ですが、福祉サービス利用援助事業「かけはし」の生活支援員や市民後見事業の後見支援員として活躍されています。今後も市民後見人が力を発揮できるよう、フォローアップを続けていきます。

令和7年度の実施内容

第1回	令和7年 4月25日
	利用者の意思決定支援について
第2回	令和7年 9月24日
	対人援助技術について(応用編)
第3回	令和7年 11月21日
	今からできる備え～成年後見と任意後見～
第4回	令和8年 1月16日
	市民後見人の実践報告(福山市)
第5回	令和8年 3月 2日
	成年後見の実務について

「成年後見制度専門相談会」兼「親族後見人相談会」を開催します(要予約、1人30分、無料)

【日時】令和8年5月27日(水) 13時～16時 【場所】山崎本社みんなのあいプラザ 【相談員】司法書士
【申込受付】4月1日(水)～ 【申込】廿日市市成年後見利用促進センター TEL20-5176

佐伯地域

「地域福祉」「地域振興」の担い手が「絆」の地域を築く

「足並みそろえの会」

佐伯地域には、玖島、友和、津田、四和、浅原の地区があります。

人口、地域の広さ、病院やスーパーなどの社会資源は異なり、その地区が抱える課題もさまざまです。

こうした課題に向き合うため、市地域共生社会推進室や支所市民福祉係・地域づくり係、地域包括支援センターさいき、各地区市民センター、市社協の生活支援コーディネーターが集まる「足並みそろえの会」を随時開いています。

昨年4月からは、玖島市民センターと一緒に「介護



第6回玖島地区足並みそろえの会の様子
介護用品の「竹の子の里」さんをお迎え

講座」を企画したほか、玖島地区で困りごとの早期発見につながる見守りの仕組みづくりについても話し合いを進めています。

また、昨年12月からは玖島地区以外の3地区でも

「足並みそろえの会」を実施することができました。

各地区の見守り体制の状況を共有しながら、「自分たちの立場で何ができるか」を話し合う時間を重ねています。

吉和地域

T型点検の魅力

1月30日、広島県地域振興課及び廿日市市地域振興室による「吉和地域まちづくり講演会」が開催され、

講師の熊本大学名誉教授の徳野貞雄さんによる、地域づくりの新しい視点のお話がありました。

徳野さんは「世帯」と「家族」の違いについて、
・世帯：実際に地域に住んでいる人
・家族：地域外に住んでいても、子どもや孫など、つながりを持つ人

令和8年からは、友和地区の見守りマップ作り、津田地区のワークシヨップ、浅原地区での防災活動など、新しい取組みについても意見交換が進んでいます。

今後も、この会は佐伯地域の課題解決に向け、関係機関と一緒に考え、行動できる場として、より安心して暮らせる佐伯地域づくりに役立てていきます。

と説明され、地域外に住む家族も含めて、地図上で整理し、地域との関係性を「見える化」する手法を「T型集落点検」と紹介されました。

T型集落点検のメリット
・地域外の家族も含めた担い手を把握できる
・地域の実態をより正しく理解できる
・住民同士の意識を共有しやすくする

大分県の中山間地域での実践例では、この取組みを進めた結果、長年実施できなかった地祭りが復活したことを紹介されました。
過疎地や限界集落であっ

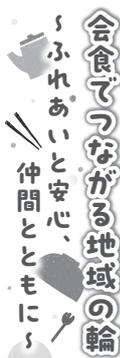
でも、点検を行うことで「実はそうではない」という気づきが得られ、会場からは「自分たちの地域でもやってみよう」といった前向きな声が寄せられています。

これからの吉和地域の未来を考える上で、「世帯」と「家族」を新たに捉える視点は、ヒントとなり、地域の皆さんと一緒に、よりよいまちづくりを進めていきます。



集落点検結果のピラミッドの説明

宮島地域



宮島地域では、70歳以上のひとり暮らし高齢者を対象に、サロン型の給食サービスと懇談会（ふれあいの集い）を年8回実施しています。

当日は、宮島支所の職員

や保健師、ケアマネジャーと一緒に、「宮島の食を推進する会」が作るバランスのとれた美味しい手作り弁当に舌鼓を打ちながら、和やかに過ごします。

また、年2回は、地域で関心の高い、振り込め詐欺やフレイル予防などをテーマに取り上げた懇談会も開かれ、情報交換や意見を話し合う機会となっています。

みんなで集まって心を元気に、手作りの食事で体を元気に、講話で頭も元気になる場となっています。

これからも、住み慣れた宮島で安心して暮らし続けられるよう、地域のみなでささえあう取り組みを続けていきます。



みんなで食べる、美味しいひととき

令和8年度 高齢者自立支援事業年間予定

No.	事業名	開催日	開催時間
1	給食サービス	4/21(火)	11:50~
2	高齢者懇談会	5/19(火)	11:30~
3	給食サービス	6/16(火)	11:50~
4	給食サービス	7/17(金)	11:50~
5	給食サービス	10/20(火)	11:50~
6	高齢者懇談会	12/15(火)	11:30~
7	給食サービス	1/22(金)	11:50~
8	給食サービス	2/16(火)	11:50~

フードバンク! Amazon「みんなで応援」プログラム

市社協では、アマゾンの「みんなで応援」プログラムを活用し、広く皆さんからの食糧の支援を受け付けています。ぜひご協力ください。【問合せ】 はつかいち生活支援センター TEL20-4080



のびる愛の手

令和7年12月6日・令和8年2月5日

次の方々から、市社会福祉協議会に温かいご寄付をいただきました。誠にありがとうございました。

本会への寄付金については、所得税・法人税などの寄付金控除が受けられます。寄付金は各地域の事業のために使われます。(金一封の方は金額表示がありません。)

《一般寄付》

氏名 (コメント) 金額等

【廿日市地域】

山口県東部ヤクルト販売(株)様
(福祉ヤクルト寄付金として) 56,000円

サントリーブバレッジソリユーション(株)様
匿名(フードバンクへ) 10,000円

匿名(フードバンクへ) 1件

【佐伯地域】

山口県東部ヤクルト販売(株)様
(福祉ヤクルト寄付金として) 5,500円

匿名(花かごのために) 1件

【吉和地域】

古川 晃様(地域福祉のために)

【大野地域】

山口県東部ヤクルト販売(株)様
(福祉ヤクルト寄付金として) 23,000円

中村 政子様(地域福祉のために) 1件

匿名(大野地域の福祉のために)

匿名(障がい児の手助けのために) 2件

【宮島地域】
2区老人クラブ(みやま会)様
(地域福祉のために)

《香典返しにかえて》
氏名 (故人名) 金額等

【廿日市地域】

藤田 速雄様(藤田真紀子様)上平良

【佐伯地域】
大前 順之様(大前カヲル様)津田

藤井 覚様(藤井 初枝様)峠
長門 輝美様(長門セツエ様)津田

【大野地域】
大西 哲様(大西 久雄様)八坂

【宮島地域】
北山 陽将様(北山サヨ子様)下西連町
小林みちか様(小林 武様)港町

大野地域

障がいのある子どもの就学・就労に向けて知っておきたいこと ～あなたの相談先はありますか？～

入学時の進路選択が一番不安だったという声を受け、令和7年度は「小・中学校入学時の進路選択」をテーマに勉強会を開催しました。具体的な事例を聞くことで「本人の意見を尊重することの大切さがわかった」「将来の姿をイメージしやすかった」など大変好評でした。

令和8年度の勉強会では、昨年からバージョンアップし、小・中学校入学時の進路選択だけでなく、「子が成人した後、困った時の相談先は?」「18歳以降の生活や就労など、いつから何を準備すればいい?」など、前回に続き講師に、一般社団法人広島学びのサポートセンター 代表理事 橋 恵さんを迎え、事例を通して知識を深めていける内容です。

子どもの発育に心配のある人や、さまざまな特性のあるお子さんを育てているご家族の皆さん、お気軽にご参加ください。

日時	内容	講師
5/13(水) 10時～12時	小・中学校入学時の進路選択	一般社団法人 広島学びのサポートセンター 代表理事 橋 恵さん
5/13(水) 13時～16時	18歳以降の生活・就労について・フリートーク	一般社団法人 広島学びのサポートセンター 代表理事 橋 恵さん 医療法人社団友和会 串戸診療クリニック 精神保健福祉士 岩田卓郎さん

会場 大野支所 3階研修室

対象 障がいのある子どもを育てる家族及び関心のある人

申込み 市社協 大野事務所



大野地域

令和8年度

自分力アップ応援プログラムを今年度も開催します。

地域内での交流や協力を深めることを目的としてさまざまな講座を開催しています。左記の障がいのある人の進路選択のほかにも盛りだくさん!

日時	内容	講師
6/23(火) 10時～12時	災害時高齢者生活支援講習～救急救命講習～	日本赤十字社 広島県支部
7/15(水) 10時～12時	サロン講座 ～つどい・居場所づくりの良さを学ぶ～	広島県社会福祉協議会
9/9(水) 10時半～12時	認知症サポーター養成講座	キャラバン・メイト

<廿日市市社会福祉協議会 窓口等一覧>

総務課・地域福祉課・生活支援課・ボランティアセンター TEL 20-0294
生活支援センター TEL 20-4080 / 成年後見利用促進センター TEL 20-5176
ひきこもり支援ステーション TEL 30-0112
佐伯事務所 TEL 72-0868 / 吉和事務所 TEL 77-2883
大野事務所 TEL 55-3294 / 宮島事務所 TEL 44-2785

ひきこもり家族会

【対象】ひきこもり状態にある方の家族 【日時】4/4(土)11時～(要予約)・6/13(土)10時～

ひきこもり個別相談会

【対象】本人・家族 【アドバイザー】公認心理師 【日時】ご希望に応じて調整(予約制)

【場所】山崎本社みんなのあいプラザ 【問合せ/申込】はつかいちひきこもり支援ステーション [はつステ] TEL30-0112

「得意」を活かした

活動がしたい!

働くママを調理で支える
提供会員Tさん

ファミサポ提供会員Tさんの得意分野は、料理をすること。高齢者や子育て世代へのサポートに活かせたらと、登録してくださいました。

現在、お仕事と子育ての両立に奮闘する依頼会員Eさんのお宅で、週1回1時間、調理のサポートで活動をされています。キッチンに立つと、Eさんがあらかじめ用意されていた食材を使って、手際よく楽しそうに調理されていました。Eさんの帰りを待つ娘さんも、Tさんが作る料理は美味しいと、満面の笑みで話してくれました。



生姜焼きを作るTさん

ことが一番うれしいです」というTさんに、お仕事から帰宅したEさんも「なくてはならない存在です」と感謝されていました。



完成した料理を楽しそうに盛り付けてくださいました

ファミサポ提供会員の登録に、資格や免許は必要ありません。助け合い活動に参加してみたいという気持ちがあれば、どなたでも登録していただけます。住民同士の助け合い活動に、あなたも参加してみませんか? まずはお気軽に、市社協ボランティアセンター及び各事務所までお問合せください。



宮島地域

昔遊びでつながる

世代の輪

地域で育む、

世代間のふれあい

1月14日、宮島こども園で、みやま会老人クラブのメンバーと、宮島こども園の園児22人、宮島学園3年生17人が参加し、昔遊び交流会を開催しました。

これまでの交流会は、みやま会と園児との交流が中心でしたが、今回は新たに宮島学園3年生も加わり、参加人数が増えて、よりにぎやかな場となりました。

大きな特徴としては、高齢者と子どもたちに加え、小学生と園児が一緒に遊ぶ姿が見られたことです。

当日は、こども園の教室と運動場を会場に、コマ回し、あやとり、けん玉、お



あやとりでつながるひととき

てだま、凧あげなどの昔遊びを楽しみました。みやま会の皆さんが丁寧に遊び方を教え、小学生が園児を気遣いながら関わる姿もあちらこちらで見られました。教室ではあやとりやおて



名人に聞く、コマ回しのコツ

だまに取り組み、運動場では元気いっぱい遊ぶなど、会場は終始、笑顔と歓声に包まれていました。参加した子どもたちからは「楽しかった」「また一緒にやりたい」との声が聞かれ、みやま会の皆さんからも「子どもたちの笑顔に元気をもらった」との感想が寄せられました。昔遊びを通して、世代を超えたつながりを感じる貴重な機会となりました。今後もこのような交流を大切にし、地域のつながりを深めていきます。

介護職員初任者研修を実施します

～令和8年度受講生募集～

市社協では、介護の基礎を学べる「介護職員初任者研修」を、山崎本社みんなのあいプラザで実施します。介護の仕事に関心がある人、資格取得を目指す人、家族の介護に備えたい人など、どなたでも受講できる内容です。講義と演習を通じて、利用者の尊厳を守る支援の姿勢や、基本的な介助方法、安全に関わるポイントを丁寧に学べます。

介護職への第一歩を踏み出す絶好の機会です!ぜひお気軽にお問合せください。

研修期間 7月4日～10月31日までの毎週土曜日9時開始
(8月15日は休み)※予定

定員 20人(先着順)
※応募状況によっては開講を中止する場合があります。

受講料 研修費 73,000円+テキスト代 6,684円
※条件を満たす人は、最大7万円の補助金を利用できる場合があります。

問合せ 市社協ボランティアセンター

申込み 右の二次元コードからお申し込みください。



あいとびあ発行方法変更のお知らせ 市社協広報紙「あいとびあ」は、令和8年度から年4回の発行に変わります。

令和8年度からの「あいとびあ」発行予定 夏号(7月上旬)/秋号(10月上旬)/冬号(1月上旬)/春号(3月末)
変更にあわせて紙面をリニューアルし、身近な福祉情報や市内のさまざまな取組みを、分かりやすくお届けしていきます。